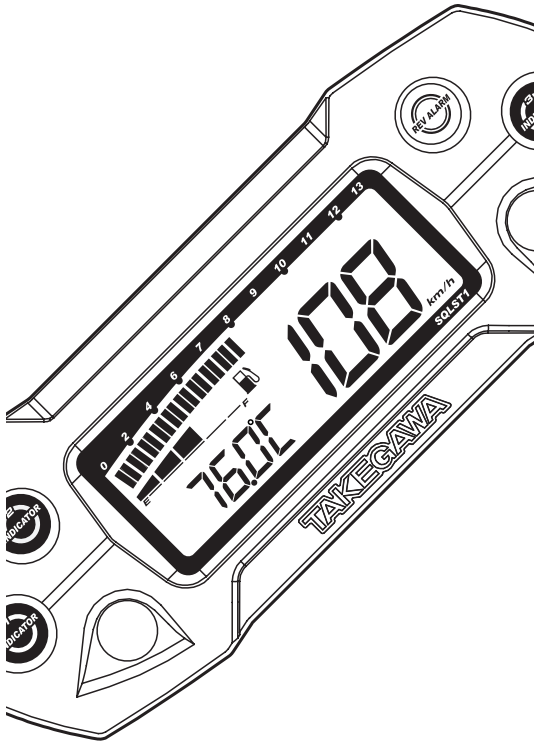


SQL ST1 KIT

SQUAR LCD SPEED & TACHO instruction manual



① まえがき

② ご使用上の注意点

③ キット内容

④ メーター本体の取り付け

⑤ 配線接続

⑤-1 メインハーネス概要

⑤-2 電源配線

⑤-3 インジケータランプ配線

⑤-4 ガソリン計入力

⑤-5 RPM信号入力

⑤-6 温度センサー入力

⑤-7 速度センサー入力

⑥ 操作方法

⑥-1 表示と機能の一覧

⑥-2 操作方法

ご使用前に必ず説明書をご覧ください。

05-05-0006

スクエアLCDスピード&タコメーター

Produced by SPECIAL PARTS TAKEGAWA

SPECIAL PARTS TAKEGAWA SQUAR LCD SPEED & TACHO METER KIT MANUAL 05-05-0006 110401B

① まえがき

この度は、TAKEGAWA 製品をお買上げ頂き有難うございます。
ご使用に付きましては、下記内容をご理解の上ご使用下さいませようお願い申し上げます。
取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買上げ頂いた販売店にご相談下さい。
◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- 取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書は基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用的な専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- 本製品使用中に発生した事故、怪我、物品の破損等に関して如何なる場合においても当社は賠償の責任を一切負いかねます。
- この商品を取り付け使用し、当製品以外に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- 他社製品との組合せは保証対象外になりますのでご遠慮願います。
- 商品を加工等された場合は保証の対象にはなりません。
- 性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- クレームについては、材料及び、加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買上げ後3ヶ月以内を限度として修理又は交換させて頂きますが、工賃その他費用は対象となりません。
- この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませようお願い致します。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品破損・ケガの原因となります。）
- 製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 技術、知識のない方は、作業を行わない下さい。（技術、知識不足による作業ミスで、部品破損により、事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備を行った際、損傷部品が見つかった場合、その部品を再使用せず損傷部品の交換を行ってください。（そのまま使用すると、部品破損により、事故につながる恐れがあります。）
- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉したような場所では、エンジンを始動しないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みの有無を確認し、緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落等で、事故につながる恐れがあります。）
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 点検や整備を行う際は、当取扱説明書やサービスマニュアル等に記載されている、要領、手順に従ってください。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 指定した部品以外の部品使用は、一切行わないで下さい。（部品破損により事故につながる恐れがあります。）
- 気化したガソリンの滞留は危険性が有る為、通気の良い場所で作業を行ってください。

② ご使用上の注意点



社外品H.I.D.キットには品質によりバラスト/インバーター（電圧変換装置）からデジタル回路に悪影響を与える高電圧ノイズが出る製品があり、程度によってはメーター故障の原因となりますので取り付けしないで下さい。社外品の点火装置（イグニッションコイルやプラグコード）は点火電圧のアップに伴う悪影響ノイズの増大により故障の原因となりますので取り付けしないで下さい。
社外品の発電装置は充電力の不足により、バッテリー電圧の低下、制御電圧の不具合により故障の原因となりますので取り付けしないで下さい。

◎本製品のボディーは樹脂製です。

風化を防ぐ為に長期、野外にバイクを置く場合はカバー等をかけてください。炎天下の中など、過酷な条件下で長期放置しますと、樹脂やゴム製部品の劣化や変形が考えられます。

▲スクリーン（ウィンドシールド）のレンズ効果による不具合についてのご報告

スクリーンが太陽光をメーター部に集光し、発生した高熱によりメーターの樹脂部品を痛めたという報告があります。スクリーンの曲面形状と太陽の位置の関係による現象の為、夏場の日中など太陽光の強い時期、時間に限られる事ではありません。スクリーンを取り外す、駐車場所を考慮する、カバーをかけるなど、防止策を行って下さい。

◎本製品は完全防水ではありません。

防滴構造ですので雨などの通常の水濡れ程度では内部に水は入りませんが、完全防水ではありませんので水の中に浸すなどすると水が浸入してしまいます。万が一本体に水が入ってしまった場合は直ちに使用を止めて下さい。

また、湿度が高い時、急激な温度変化があった場合などに本体が湿気を吸い込みパネル内面に曇りが発生可能性があります。

◎絶対に分解しないで下さい。

分解や改造を行わないで下さい。また、お客様で分解された場合、商品修理をお受けする事も出来なくなってしまいます。

◎激しい衝撃を与えないで下さい。

オフロード走行やジャンプ、ウイリーなど、メーターに強い衝撃を与える行為は行わないで下さい。衝撃によっては内部部品の欠落、ボディーの損傷の恐れがあります。

◎お手入れについて

頑固な汚れがある場合は水に少量の中性洗剤を溶かし、ゆっくり丁寧に汚れを落として下さい。

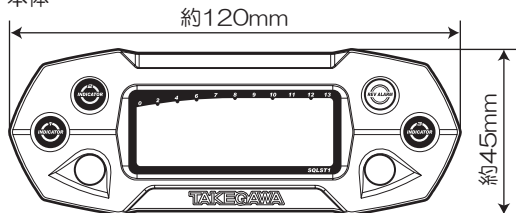
揮発性のあるもの（シンナー・アルコールなど）やコンパウンドで掃除しますと、パネル等が曇ってしまいますのでご注意ください。

③ キット内容

次ページに続く

メーター本体

※各部品のコード長は前後します。



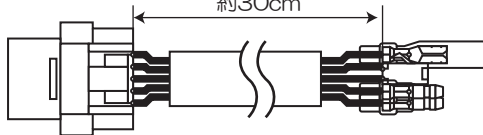
メーター本体消費電力：最大値※約2W（13V150mA）
※バックライト最高輝度&インジケーター全点灯時
・バックライト輝度を1つ下げる毎に最大値から約-10mA。
・インジケーター全消灯時は最大値から約-60mA。

縦：約45mm、横：約120mm、厚み：約35mm
（厚みにメイン配線接続部、メーターステー取り付け部は除く）

メイン配線

約30cm

関連ページ **⑥-2**



リペアパーツ品番
00-05-0034

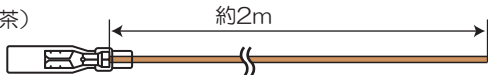
③ キット内容

前ページの続き

次ページに続く

P4

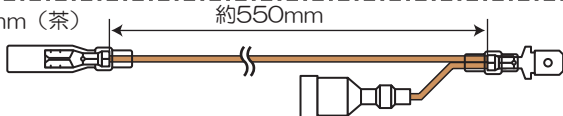
RPMコードA 2m (茶)



関連ページ ⑤-5

リペアパーツ品番
090-00-0062

RPMコードB 550mm (茶)



関連ページ ⑤-5

リペアパーツ品番
090-00-0063

タイラップ
2本



関連ページ ⑤-5

配線結束等でご使用下さい。

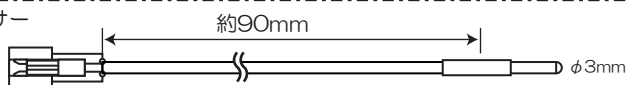
熱収縮チューブ φ12X50



関連ページ ⑤-5

リペアパーツ品番
090-00-0057 (3個入り)

スティック温度センサー



関連ページ ⑤-6

リペアパーツ品番
07-04-0551

油温計測、水温計測を行うには、は別途当社製アダプター類が必要です。
当社カタログにてアダプターや形状の異なるセンサーをご確認下さい。

温度センサー連結コード900mm



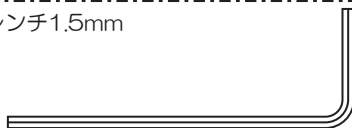
関連ページ ⑤-6

リペアパーツ品番
07-04-0522

六角穴付止めネジ (イモネジ)
M3X5



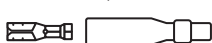
Lレンチ1.5mm



関連ページ ⑤-6

リペアパーツ品番
BW-00-0030 (6個入り)

メスギボシセット (φ3.5)



オスギボシセット (φ3.5)

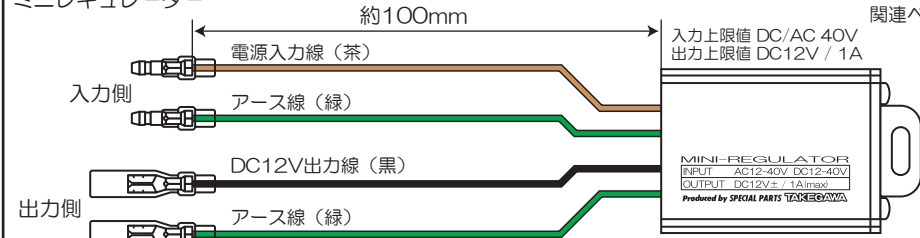


関連ページ ⑤-2~4

ミニレギュレーター

リペアパーツ品番 05-06-0001

ミニレギュレーター



関連ページ ⑤-2

ソケットキャップスクリュー
M3X12

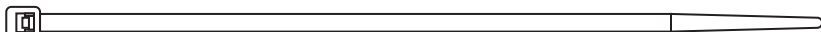


ナット M3



付属ビスとナット、タイラップは好みでご使用下さい。

タイラップ

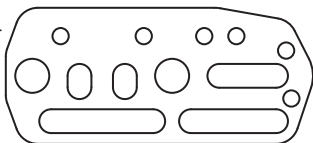


配線結束等でご使用下さい。

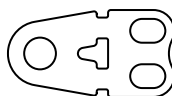
メーターステーセット

リペアパーツ品番 00-05-0033

メーター側
メーターステー

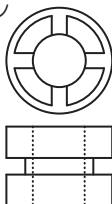


車体側メーターステー



関連ページ **④**

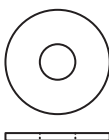
クッション
ラバー
2個



タッピングスクリュー
M4X8
2個



大径ワッシャー
M4用 (4X14X1)
2個



ナットM6
4個



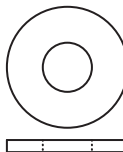
極低頭キャップスクリュー
M6X12
3個



小径ワッシャー
M6用 (6X12X1.5)
6個



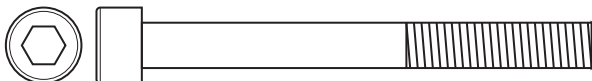
大径ワッシャー
M6用 (6X16X1.6)
2個



アルミスパーサー
M6用 (6X10X7)
1個



ソケットキャップスクリュー
M6X60



JISケーブル式速度センサーセット

リペアパーツ品番 05-06-0012

JISケーブル式速度センサー



関連ページ **④**

関連ページ **⑥-7**

ソケットキャップスクリュー
M4X16 2個



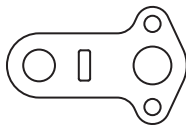
スプリングワッシャー M4用
2個



ナット M4
2個



速度センサーステー フラットタイプ



速度センサーステー 90バンドタイプ



大径ワッシャー
M6用 (6X16X1.6)



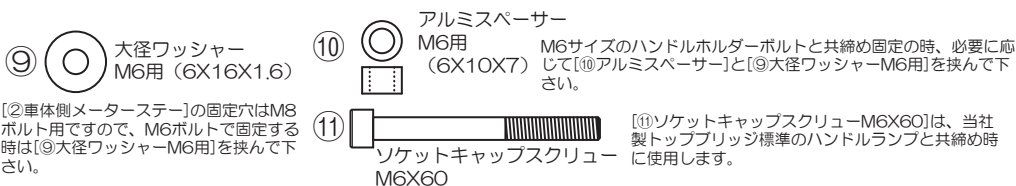
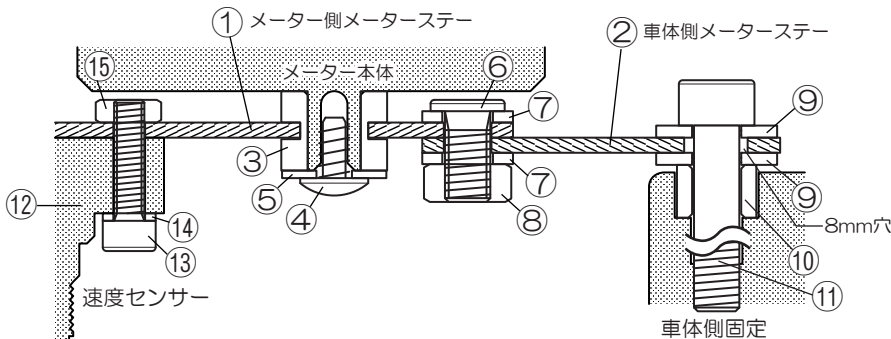


取り付けを誤ると、ボルトおよびナットの破損、脱落等で事故につながる恐れがあります。

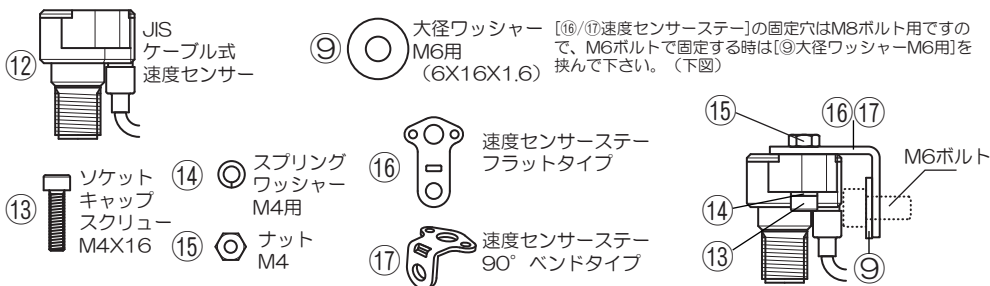
本製品は車種別ボルトオン設計品ではありませんので、取り付けにはステー類の加工やバイク側の加工、工夫が必要になります。

メーターステー関連の部品図

車体への固定位置を様々な位置に設定出来る組み立て式メーターステーです。組み立て図を参照の上、車体へ固定して下さい。



メーターステーに速度センサーを取り付ける事が出来ます。また、専用の速度センサーステーも2種類付属しています。



メーターステー設置可能範囲

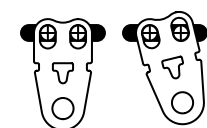
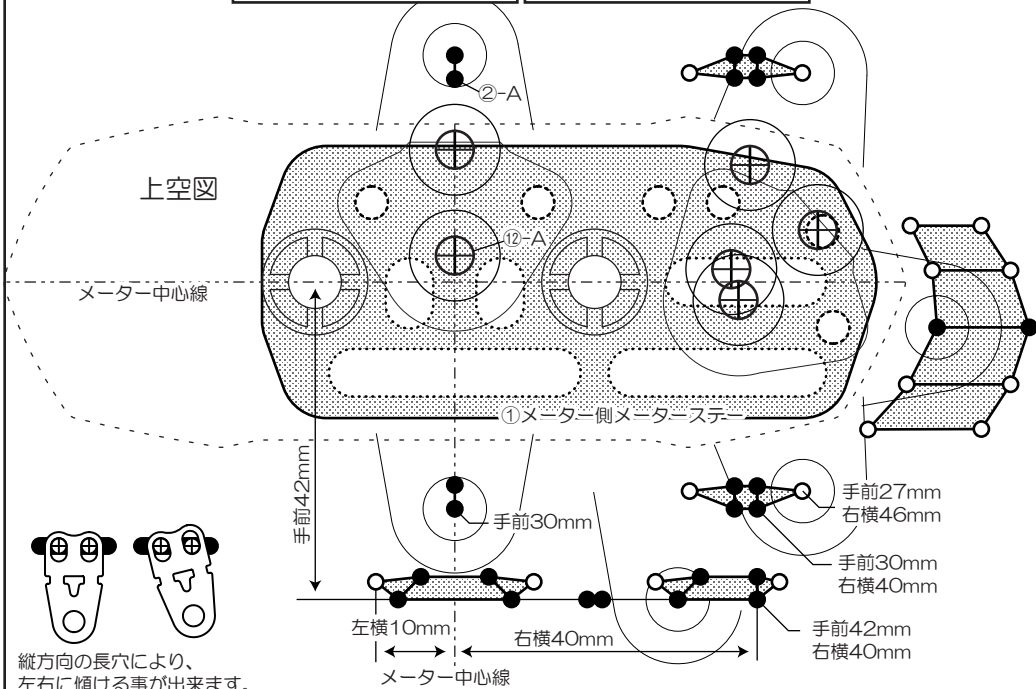
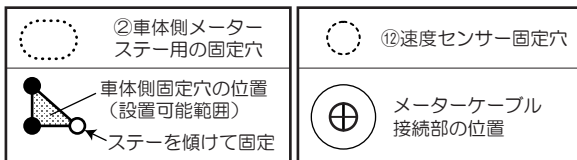
[①メーター側メーターステー]に対する[②車体側メーターステー]と[⑫速度センサー]の設置可能範囲を表した図です。実際に仮組みし、最適な組み合わせを探索して下さい。

[①メーター側メーターステー]を裏返しにし、図と上下逆さまに組み合わせる事も可能です。

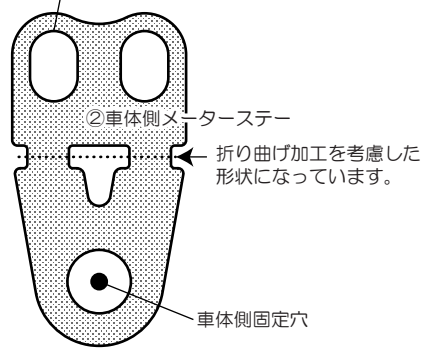
※図はボルトと溝のガタ分を含めていない為、実際に組み立てると、メーターステーの設置可能範囲は図よりも少し広くなります。

※[②車体側メーターステー]の位置により、[⑫速度センサー]を取り付け不可能な位置が発生します。

例えば、下図中②-Aと⑫-Aは組み合わせ不可能です。



縦方向の長穴により、左右に傾ける事が出来ます。



メーターの湿気抜き穴の位置 (メーター底面の円形の凸)
ここに[②車体側メーターステー]を固定すると、湿気抜き穴と[⑥極低頭キャップスクリュー]の頭とが接触します。接触する側の[⑦小径ワッシャ]を抜くか、湿気抜き穴を少し削る必要があります。[⑦小径ワッシャ]を抜く場合、固定力が落ちます。

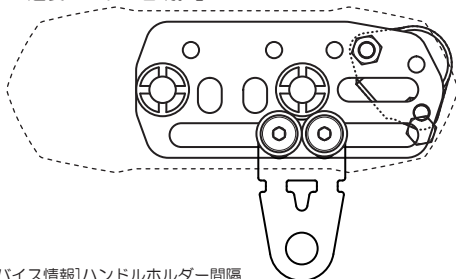
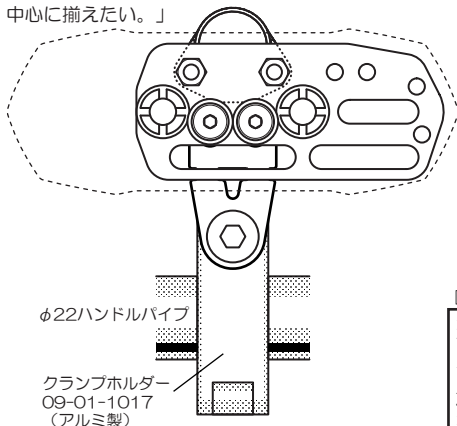
メーターステー組み立て例

実際の組み立て参考図です。図は一例であって、色々な位置にステーを移動できます。車体に合わせて、最適な組み合わせを探索して下さい。

利用できる別売クランプ部品の詳細は当社カタログでご確認下さい。

「メーター、速度センサー、車体側ステーを中心に揃えたい。」

「固定穴を手前42mm、右横37mm。速度センサー右端。」



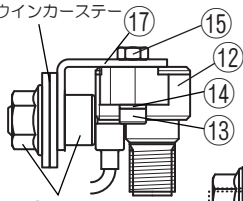
[アドバイス情報]ハンドルホルダー間隔

ホンダミニバイクのハンドルホルダー間隔は大体ですが2種類に分かれています。
 エイブ、XR50Mなどは80mm間隔(右横40mm)です。
 ゴリラやCD50などは60mm(右横30mm)です。
 ZOOMERは62mm(右横31mm)です。
 当社製オリジナルトップブリッジは59mm(右横29.5mm)です。

当社製フォーク付きモンキーでの取り付け例

- ・速度センサーは[⑩速度センサーステー-90バンドタイプ]使い、別売のウインカーステーと組み合わせてフロントフォークにクランプしました。(図A)
- ・キーシリンダーを別売のステーと付属の[⑥極低頭キャップスクリュー-M6X12]、[⑦小径ワッシャ-M6用]、[⑧ナットM6]で、[①メーター側メーターステー]に固定しました。(図B)
- ・ハンドルクランプ固定ボルトを10mm長い[⑪ソケットキャップスクリュー-M6X60]に交換し、[⑨大径ワッシャM6用]と[⑧ナットM6]でトップブリッジ下側に[②車体側メーターステー]を固定しました。(図C)

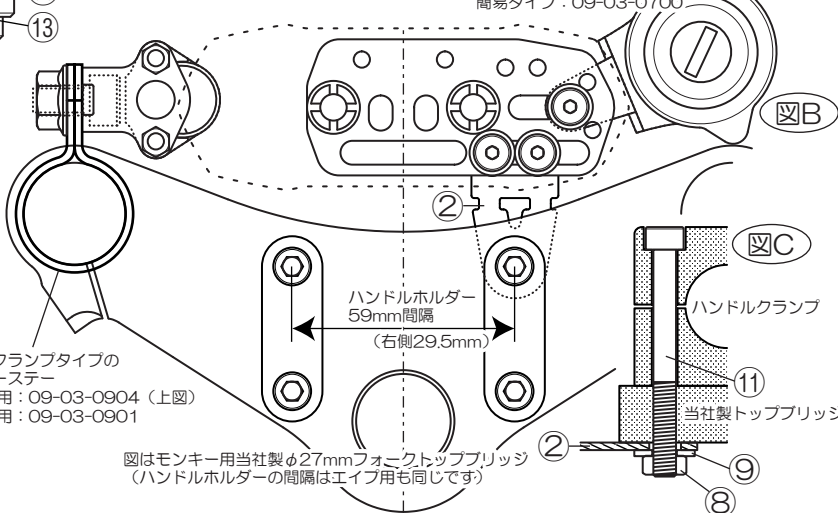
ウインカーステー



ボルトM8X15
ナットM8
(市販品)

図A

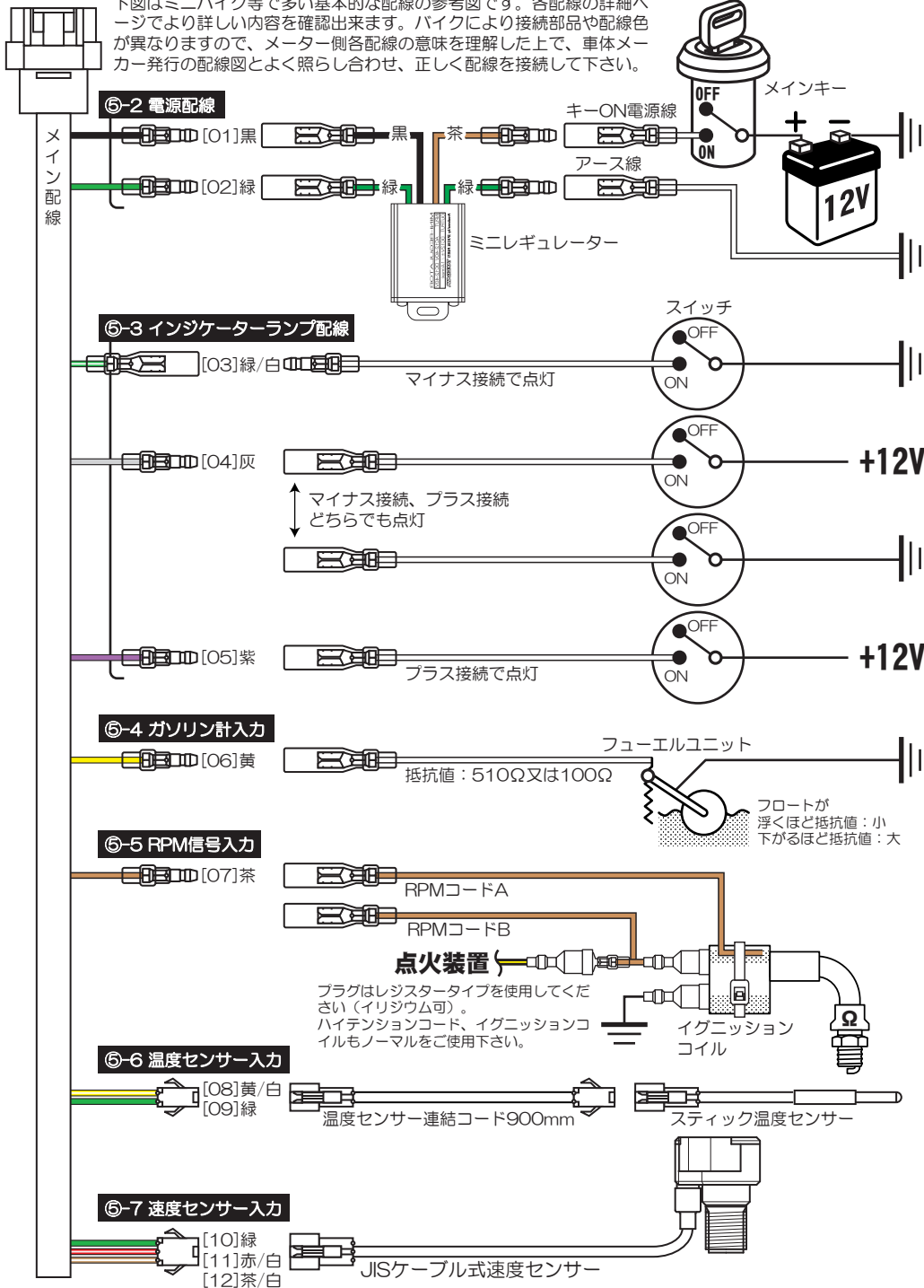
モンキーエイブ系キーシリンダー移動ステー
カバー付きタイプ：09-03-0702(下図)
簡易タイプ：09-03-0700



フォーククランプタイプのウインカーステー
φ27mm用：09-03-0904 (上図)
φ31mm用：09-03-0901

図はモンキー用当社製φ27mmフォークトップブリッジ
(ハンドルホルダーの間隔はエイブ用も同じです)

下図はミニバイク等で多い基本的な配線の参考図です。各配線の詳細ページでより詳しい内容を確認出来ます。バイクにより接続部品や配線色が異なりますので、メーター側各配線の意味を理解した上で、車体メーカー発行の配線図とよく照らし合わせ、正しく配線を接続して下さい。



No.	配線色	機能	No.	Color	Function
[01]	黒	キーON電源入力 (DC12V)	[01]	Black	Key-on (DC12V)
[02]	緑	メインアース (GND)	[02]	Green	Main GND
[03]	緑/白	インジケータランプ1 緑LED (マイナス接続)	[03]	Green/White	Indicator1 (-)
[04]	灰	インジケータランプ2 赤LED (プラス/マイナス接続)	[04]	Gray	Indicator2 (+/-)
[05]	紫	インジケータランプ3 緑LED (プラス接続)	[05]	Purple	Indicator3 (+)
[06]	黄	ガソリン計入力 (抵抗値)	[06]	Yellow	Fuel Signal Input (Ω)
[07]	茶	RPM信号入力 (パルス)	[07]	Brown	RPM Signal Input (Pulse)
[08]	黄/白	温度センサー入力 (抵抗値)	[08]	Yellow/White	Thermo Sensor (Ω)
[09]	緑	温度センサー入力 (GND)	[09]	Green	Thermo Sensor (GND)
[10]	緑	速度センサー (GND)	[10]	Green	Speed Sensor (GND)
[11]	赤/白	速度センサー (5V出力)	[11]	Red/White	Speed Sensor (5V Output)
[12]	茶/白	速度センサー (パルス入力)	[12]	Brown/White	Speed Sensor (Pulse)

[メーター本体]

- ・DC12V電源、AC12V電源どちらでも作動可能な基本設計に加え、40Vまでの電圧を制御するミニレギュレーター付属でより幅広い電圧に対応出来るだけでなく、過電圧に対しても高い耐久性を誇ります。
- ・内蔵電池を必要としないフラッシュメモリー式ですので長期間、電源OFFでも各種記録は維持します。
- ・AC電源において、低回転時の低い電圧でも出来る限り作動するように、最低作動電圧を低めに設定しています。
- ・電圧範囲：DC8V～24V、AC8V～18V。ただし、最低電圧付近では液晶文字濃度やバックライトが薄くなります。
- ・配線色およびギボシはホンダ車向け小型サイズ (φ3.5) になっております。車体によって配線を加工する必要がある場合があります。

[ミニレギュレーター]

- 入力側 (オスギボシ) を車体ハーネスに接続、出力側 (メスギボシ) にメーターを接続して下さい。
- ・40Vまでの入力電圧をDC12Vに変換します。また、レクチファイヤー機能によりAC電源をDC電源に変換します。
 - ・入力側に接続出来る電源の最大電圧 (車体側電圧) は、DC40V、AC40Vまでです。
 - ・出力側に接続出来る消費電力は、12W (12V1A) までです。1A=1000mA
本製品の消費電流値はバックライト最高輝度、インジケータランプ全点灯時、約150mA。
- ※ミニレギュレーターはあくまで車体電装系に問題が発生した時の保護用部品であって、過電圧下での使用を補償するものではありません。電装系に過度の問題がある状態での使用を続け、もし純正レギュレーターが故障し電圧制御の能力を失うと、ミニレギュレーターの入力最大電圧を超えてしまう可能性があります。

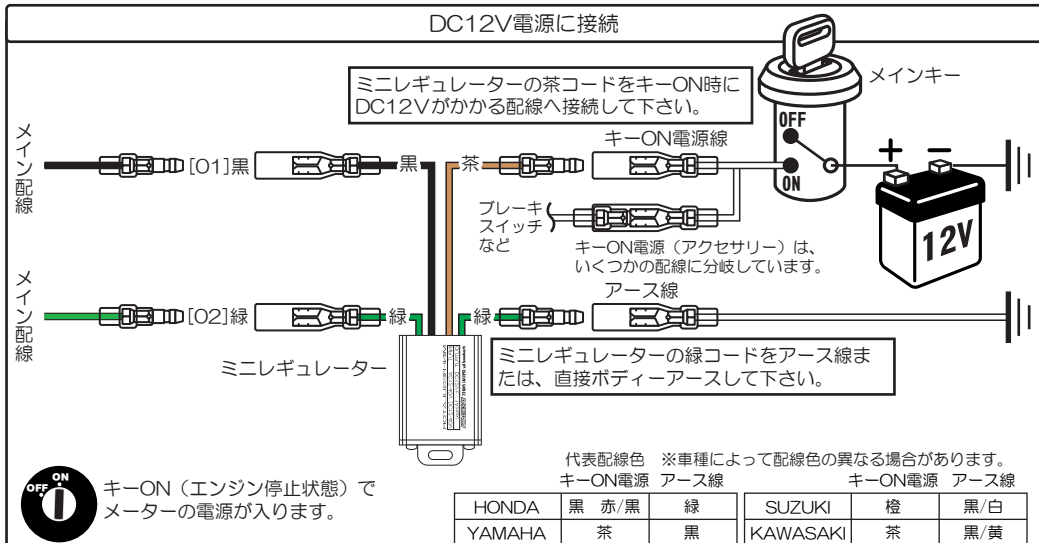
[ヘッドライトOFFでの走行禁止 / 保安部品を外したレース用車輛]

ヘッドライト常時点灯車を安易な改造 (断線させるだけ) によりライトOFF状態にして走行すると消費されない電力が車体全体の電圧を上げてしまいます。そのまま走行を続けると、過充電によるバッテリーの劣化や過度の負担により純正レギュレーターが故障してしまう可能性があります。ノーマルよりも高いエンジン回転数で走行するエンジン改造車では、悪影響がより強くなります。

ヘッドライトが球切れしてしまった場合は、直ちに走行を止めるか、どうしても走行する必要がある場合はハイビームに切り替えて (光軸も調整して) 下さい。この時、なるべく低回転で走行して下さい。

レース用車輛ですべての保安部品を外す際は、専門的な知識と代替部品や追加部品が必要となります。

下図はミニバイク等で多い基本的な配線の参考図です。バイクにより接続部品や配線色が異なります。メーター側各配線の意味を理解した上で車体メーカー発行の配線図とよく照らし合わせ、正しく配線を接続して下さい。



[DC電源とは]

＝直流電源。キーON（エンジン停止状態）時からエンジン稼働中まで比較的電圧が安定しているバッテリー電源です。車体仕様差はありますが一般的なテスターで電圧を測定すると、キーON時12.5～13V前後、走行中は～14.5V前後となります。

※バッテリー付き車でも、エンジン始動に伴い電圧の発生する配線（ヘッドライトや尾灯に多い）はAC電源となります。

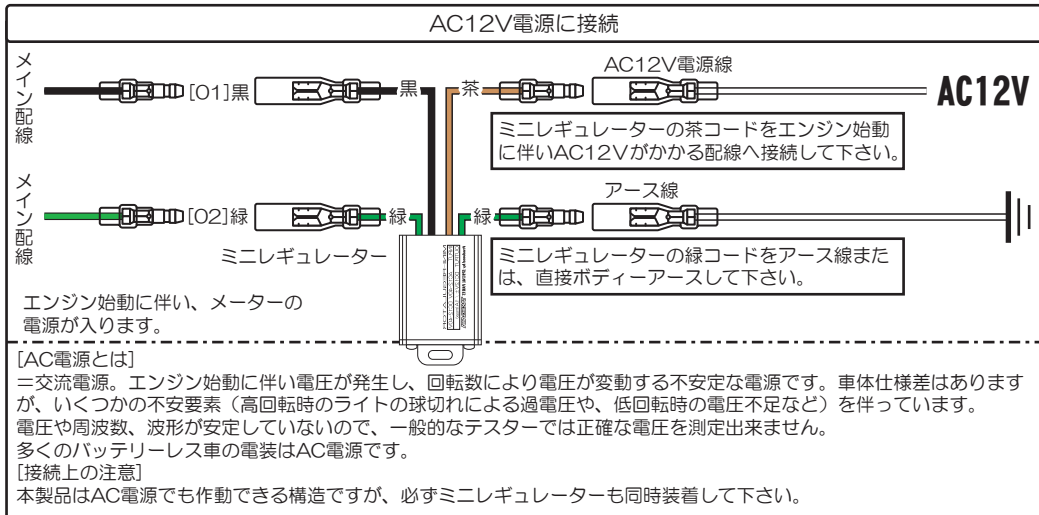
[接続上の注意]

キーONだけで電源が入らない場合はバッテリーの劣化もしくは誤配線が原因です。

完全に劣化しているバッテリーを使うと、高回転時、逆に過電圧になるばかりか、過度の負担により純正レギュレーターが故障してしまう可能性があります。

[アドバイス]

エンジンを停止状態でブレーキランプを点け、さらにウインカーを点けて下さい。点滅速度が異常であればバッテリーが弱っています。



[AC電源とは]

＝交流電源。エンジン始動に伴い電圧が発生し、回転数により電圧が変動する不安定な電源です。車体仕様差はありますが、いくつかの不安要素（高回転時のライトの球切れによる過電圧や、低回転時の電圧不足など）を伴っています。

電圧や周波数、波形が安定していないので、一般的なテスターでは正確な電圧を測定出来ません。

多くのバッテリーレス車の電装はAC電源です。

[接続上の注意]

本製品はAC電源でも作動できる構造ですが、必ずミニレギュレーターも同時装着して下さい。

下図はミニバイク等で多い基本的な配線の参考図です。バイクにより接続部品や配線色が異なります。メーター側各配線の意味を理解した上で車体メーカー発行の配線図とよく照らし合わせ、正しく配線を接続して下さい。

- 本製品の汎用的にご使用頂けるLEDインジケータは3個です。
下記はLEDを点灯させる為の参考例で、車種によっては回路の仕組み上利用出来ない場合、配線方法が異なる可能性があります。
- 本製品は各インジケータ用配線を信号線として扱い、LEDに直接電流を流さない事で、電圧の乱れや過電圧に対する耐久性の高い仕様となっています。

インジケータランプ1 緑LED（マイナス接続で点灯）

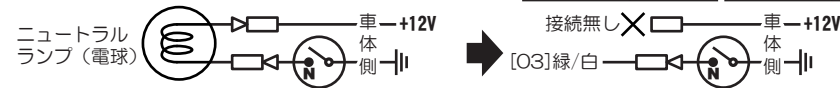
ニュートラルランプとしての利用例

ニュートラルスイッチ



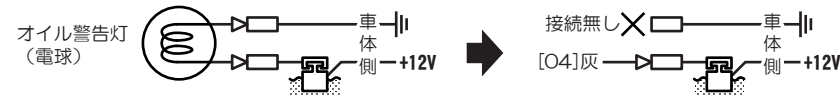
代表配線色 ※車種によって配線色の異なる場合があります。

HONDA	若葉/赤	SUZUKI	青/黒
YAMAHA	空	KAWASAKI	若葉



インジケータランプ2 赤LED（プラス/マイナス接続どちらでも点灯）

オイル警告灯としての利用例1（プラス接続） YAMAHA車2ストロークスクーターなど（YAMAHA配線色：灰）

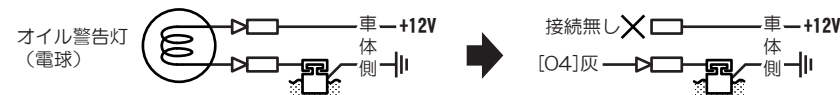


オイル警告灯としての利用例2（マイナス接続）

多いのはこちらのタイプです。

代表配線色 ※車種によって配線色の異なる場合があります。

HONDA	緑/赤	SUZUKI	青/白
YAMAHA	黒/赤	KAWASAKI	黒/赤



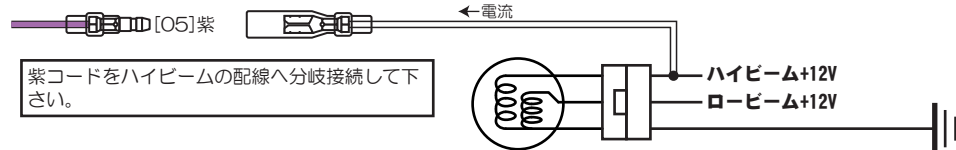
下図はミニバイク等で多い基本的な配線の参考図です。バイクにより接続部品や配線色が異なります。メーター側各配線の意味を理解した上で車体メーカー発行の配線図とよく照らし合わせ、正しく配線を接続して下さい。

インジケータランプ3 緑LED（プラス接続で点灯）

ハイビームインジケータランプとしての利用例

※ハイビームインジケータランプは通常青色ですが、本製品のインジケータランプ3は緑LEDです。

メ
イ
ン
配
線

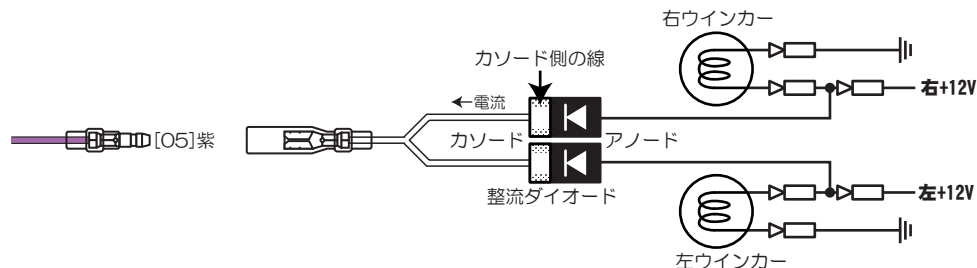


紫コードをハイビームの配線へ分岐接続して下さい。

ターンランプとしての利用例 ※ある程度の電子工作技術が必要です。

- ・下図を参考に左右ウインカーのプラス配線から線を分岐させ、それぞれに整流ダイオードのアノード側を取り付けて下さい。
 - ・カソードを1つに結合しメーターの紫コードに接続して下さい。
- ※整流ダイオードはアノードからカソードにのみ電流が流れて、その反対には流れない電子部品です。
 端に白や灰の線が入っている方がカソードで、線の無い方がアノードです。
 ※整流ダイオードは、入手しやすい[耐電圧50V、耐電流1A]や[耐電圧100V、耐電流1A]などでOKです。
 本製品のインジケータランプ用の配線は電圧認識用なので流れる電流はわずかです。
 ※整流ダイオード無しで接続すると、左右のウインカーが同時に点灯してしまいます。
 ※当社で整流ダイオードは用意しておりません。電子部品販売店様にてご購入下さい。

メ
イ
ン
配
線



下図はミニバイク等で多い基本的な配線の参考図です。バイクにより接続部品や配線色が異なります。メーター側各配線の意味を理解した上で車体メーカー発行の配線図とよく照らし合わせ、正しく配線を接続して下さい。

フューエルユニット（ガソリンセンサー）接続

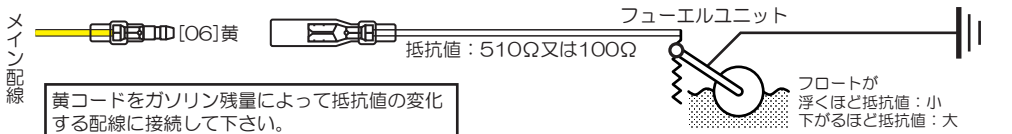
もともとガソリン計が装備されているバイクで、フューエルユニットの満タン時とガス欠時の[抵抗値]が本製品と合えばご使用頂けます。

主にHONDA車対応の510ΩとYAMAHA、SUZUKI車対応の100Ω、2種類の[抵抗値]を選択できます。

配線を接続していない場合は自動で「表示無し」になります。

メーター及びセンサーの仕組み上、バイクによってはガソリン満タン時にメモリが最大値まで上がらない場合があります。ご了承下さい。

関連ページ **⑥-2操作方法**



抵抗値ごとのメーター表示目盛り数

目盛り数	100Ωタイプ	510Ωタイプ
5	0~約16Ω	0~約74Ω
4	約17~約28Ω	約75~約140Ω
3	約29~約43Ω	約141~約230Ω
2	約44~約63Ω	約231~約330Ω
1 (点滅)	約64~約82Ω	約331~約449Ω
0 (点滅)	約83~	約450~

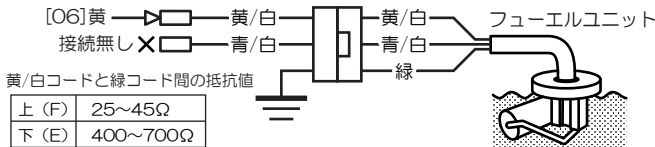
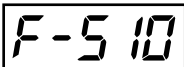
ガス欠 ← (E) → 満タン (F)

同一メーカーでも車種別で配線色の異なる場合があります

一部HONDA車で100Ωタイプが採用されています。(当社確認車は一部年式のジャイロX)

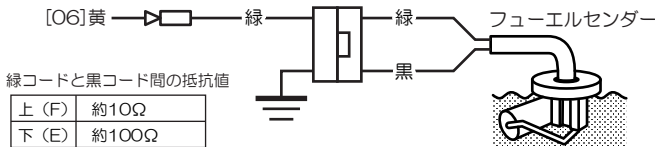
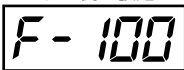
HONDA車の例

メーター側の設定



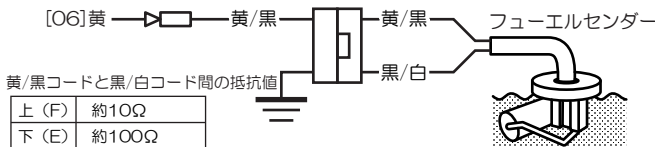
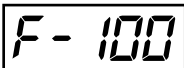
YAMAHA車の例

メーター側の設定



SUZUKI車の例

メーター側の設定



1. 悪影響を及ぼす社外部品を使わないで下さい。

- スパーク力を強くすると、それに応じて点火ノイズも増大します。イグニッションコイルやプラグコード、プラグキャップ、レーシングプラグ（抵抗無しタイプ）、社外CDI等の改造が大きな悪影響を及ぼす事があります。
- 点火系部品の劣化も点火ノイズ増大に関係します。特にプラグコード表面の劣化&水濡れには注意して下さい。

2. 様子を確認しながら配線作業を行ってください。

- 信号を拾う方法は複数あります。ご面倒でも、必ず推奨の方法から順に試して下さい。
タコメーターが正常に動く範囲で可能な限り悪影響の低い（信号電圧が低い、ノイズが少ない）方法を見つけて下さい。

RPM信号設定（3項目）

様々な車両でタコメーターが正常に作動出来るよう、3項目の「RPM信号設定」をメーター本体に装備しています。

RPM信号接続設定：RPMコード接続先の種類を選択します。

値により[RPM信号回数設定]と[RPM信号種類設定]の設定範囲が変化します。

RPM信号回数設定：クランクシャフト1回転あたりの信号回数の設定です。設定値が合っていないと、さっくり半分、2倍表示、3倍・・となります。

RPM信号種類設定：接続方法に合った、読み込みプログラムの種類を選択します。
切り替えにより、同じ接続方法でも正常作動する事があります。

関連ページ **⑥-2 操作方法**

【A接続】 【B接続】 【C接続】 RPM信号入力（3種類）

【A接続】 プラグコード表面

【B接続】 イグニッションコイル1次側

【C接続】 ビックアップパルスの読み込み

バイクの点火方式により、適した接続方法が異なります。

点火方式の見分け方

お客様のバイクの点火方式を知る事で、適した接続方法を見つけ易くなります。
ポイント点火方式（本製品非対応）以外の点火方式は大きく3種類に分かれます。

- ★：確実な条件
- △：異なる場合がある。

CDI点火方式 バッテリーレス車や小排気量キャブレター車に多い。

基本構造 ステーターに点火用コイルがあり、その電力をCDIに蓄電し点火を行う。

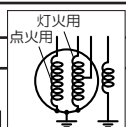
見分け方 ★CDIにDC12V電源（キーON）が接続されていない。

★ステーターに点火用コイルがある（右図）。
△フライホールの突起は1つである事がほとんど。

接続方法 【A接続】 【B接続】 【C接続】

12Vモンキー（キャブ）系エンジン・エイブ（キャブ）系エンジン

点火用コイルについて
点火用コイルには0.1mm程度の極めて細い銅線が巻かれており、外周は耐熱シートで保護されている事が多い。
0.8~1mm程度の銅線が巻かれているのは灯火用コイル。



配線図の図形

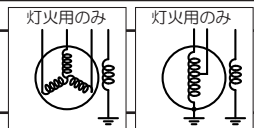
DC-CDI点火方式 高年式の小排気量キャブレター車や中型クラス以上のキャブレター車に多い。

基本構造 バッテリー電力を昇圧回路で高電圧化し、点火を行う。通称バッテリー点火。

見分け方 ★CDIにDC12V電源が接続されている。
★ステーターに点火用コイルが無い（右図）。
△フライホールの突起は1つである事がほとんど。

接続方法 【A接続】 【B接続】 【C接続】

KSR110・シグナスX（キャブ）・アドレスV125GK7以前 .etc



配線図の図形

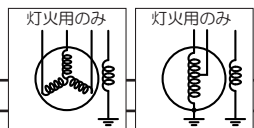
フルトランジスタ点火方式 インジェクション車や中型クラス以上のキャブレター車に多い。

基本構造 イグニッションコイルへのバッテリー電力の通電をトランジスタが制御し、点火を行う。

見分け方 ★イグニッションコイルにDC12V電源が接続されている。
★ステーターに点火用コイルが無い（右図）。
△フライホールの突起が複数ある事が多い。

接続方法 【B接続】 【C接続】

モンキーF1・エイブF1・シグナスX F1・アドレスV125GK9以降 .etc



配線図の図形

【A接続】の配線方法

CDI点火方式 DC-CDI点火方式 ~~フルトランジスタ点火方式~~ 点火方式の見分け方は[P15]

【A接続】

本体コード [07]茶

メーター本体のRPM信号設定の切り替え操作を行って下さい。

RPM信号接続設定：IG 関連ページ **⑥-2 操作方法**
 RPM信号回数設定：通常1か2
 RPM信号種類設定：通常Hi 不安定な場合、Loを試して下さい。

- ①** 付近のフレームやカウルなど車体側にコードを貼り付けるとアンテナ状態を読み取ります。
- ②** イグニッションコイルボディー表面に20mm程度コードを沿わせてタイラップ等で固定。
- ③** プラグコードに20mm～30mm程度を沿わせてタイラップ等で固定。沿わず長さが長いほど信号が強くなります。
- ④** プラグコードに巻き付け、発生した電気で信号を拾います。巻き付け回数を増やすほど信号が強くなります。
- 多くの場合、④の方法で3回転ほど巻き付けると、正しく読み取れます。

トラブルシューティング

- 指針の上下の動きは安定しているが、実際よりも少ない値や多い値を指す。
→ 「RPM信号回数設定」が合っていない可能性があります。合っていないとちょうど2倍や半分の値を指します。
 - 指針が全く上がらない、高回転側で指針が下がる。
→ 信号が強くなる方法を試してください。
 - 指針が実際よりも多い値を指す。指針が振り切る。
→ 信号が弱くなる方法を試して下さい。
- ※調整により、微妙な数値誤差が生じる可能性はほとんどありません。正常な数値を表示出来るか、出来ないかはっきりしています。

RPMコードAを絶縁テープなどで仮止めし、軽い空吹かしにて作動確認を行って下さい。

警告 RPMコードを仮止めた状態で“実走行”は危険ですのでお止め下さい。

- 【A接続】の③や④でRPM信号入力を採用した場合、付属の熱収縮チューブを使い仕上げして下さい。
- ・ プラグコードからプラグキャップを外します。
- ・ 熱収縮チューブをRPMコードAの上まで通し、ドライヤーなどで収縮させて下さい。
(収縮温度：90℃以上、約50%の内径まで収縮)
- ・ RPMコードが抜けないようにタイラップで上からしっかり止めて下さい。
- ・ 最後にプラグキャップをしっかり取り付けて下さい。

【B接続】の配線方法

CDI点火方式

DC-CDI点火方式

フルトランジスタ点火方式

点火方式の見分け方は[P15]

点火方式により、説明内容が異なります。

【B接続】

CDI点火方式

本体コード
■[07]茶

RPMコードB

CDI

プラス電圧点火

アース

イグニッションコイル

※アース線が無い場合があります。
(コイル本体のネジ固定部がアース接続を兼ねている)

作動確認前に本体のRPM信号設定の切り替え操作を行って下さい。

RPM信号接続設定：IG
RPM信号回数設定：通常1か2
RPM信号種類設定：Hiを試し、不安定な場合のみLoを試す。

関連ページ ⑥-2 操作方法

【B接続】

DC-CDI点火方式

車種により読み取れない事例があります。

本体コード
■[07]茶

RPMコードB

CDI

プラス電圧点火

アース

イグニッションコイル

※アース線が無い場合があります。
(コイル本体のネジ固定部がアース接続を兼ねている)

作動確認前に本体のRPM信号設定の切り替え操作を行って下さい。

RPM信号接続設定：IG
RPM信号回数設定：通常0.5か1か2
RPM信号種類設定：Loを試し、不安定な場合のみHiを試す。

関連ページ ⑥-2 操作方法

【B接続】

フルトランジスタ点火方式

本体コード
■[4]茶

RPMコードB

12V

ECU

マイナス電圧点火

アース

イグニッションコイル

作動確認前に本体のRPM信号設定の切り替え操作を行って下さい。

RPM信号接続設定：IGです。
RPM信号回数設定：通常0.5か1
RPM信号種類設定：Hi

関連ページ ⑥-2 操作方法

トラブルシューティング

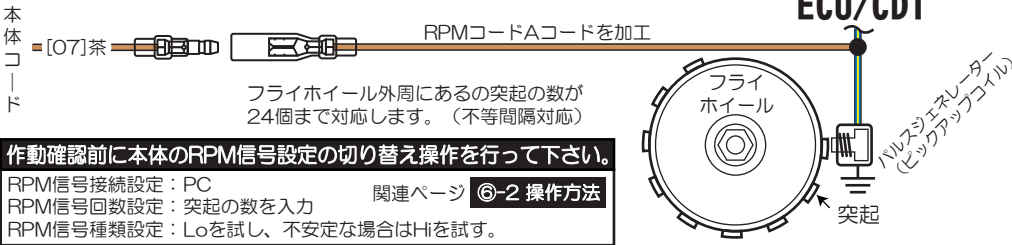
- 指針の上下の動きは安定しているが、実際よりも少ない値や多い値を指す。
→ 「RPM信号回数設定」が合っていない可能性があります。合っていないとちょうど2倍や半分の値を指します。
- 指針が全く上がらない。
→ 「RPM信号種類設定」が合っているかを確認して下さい。
- 指針が実際よりも多い値を指す。指針が振り切る。
→ 「RPM信号種類設定」が合っているかを確認して下さい。

※調整により、微妙な数値誤差が生じる可能性はほとんどありません。正常な数値を表示出来るか、出来ないかはっきりしています。

【C接続】の配線方法

CDI点火方式 DC-CDI点火方式 フルトランジスタ点火方式 点火方式の見分け方は[P15]

【C接続】



作動確認前に本体のRPM信号設定の切り替え操作を行って下さい。

RPM信号接続設定：PC 関連ページ ⑥-2 操作方法
 RPM信号回数設定：突起の数を入力
 RPM信号種類設定：Loを試し、不安定な場合はHiを試す。

RPM信号回数設定の例



トラブルシューティング

- 指針の上下の動きは安定しているが、実際よりも少ない値や多い値を指す。
 → 「RPM信号回数設定」が合っていない可能性があります。合っていないとちょうど2倍や半分の値を指します。
- 指針が全く上がらない。
 → 「RPM信号種類設定」が合っているかを確認して下さい。
- 指針が実際よりも多い値を指す。指針が振り切る。
 → 「RPM信号種類設定」が合っているかを確認して下さい。

※調整により、微妙な数値誤差が生じる可能性はほとんどありません。正常な数値を表示出来るか、出来ないかははっきりしています。

参考情報

よくご質問頂く車両についての作動方法を紹介します。※この情報は接続方法を限定するものではありません。

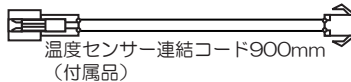
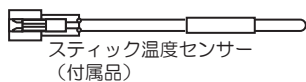
車種	エンジン仕様	点火	共通	接続	メーター設定
12Vモンキー	キャブレター	CDI	共通	A接続(A-④3巻き)	IG-1-Hi
12Vゴリラ	キャブレター	CDI		B接続(黒/黄コード)	IG-1-Hi
エイブ50/100	キャブレター	CDI		C接続(青/黄コード)	PC-1-Lo
XR50/100M	キャブレター	CDI			
車種	エンジン仕様	点火	共通	接続	メーター設定
モンキーFI	インジェクション	フルトランジスタ	共通	A接続 不可	X
エイブ50FI	インジェクション	フルトランジスタ		B接続(桃/青コード)	IG-0.5-Hi
エイブ50タイプD	インジェクション	フルトランジスタ		C接続(青/黄コード)	PC-9-Lo
車種	エンジン仕様	点火		接続	メーター設定
KSR110	キャブレター	DC-CDI		C接続(青/黄コード)	PC-1-Hi
シグナスX FI	インジェクション	フルトランジスタ		B接続(赤コード)	IG-1-Hi
アドレスV125 GK7	インジェクション	DC-CDI		A接続(A-④3巻き)	IG-0.5-Hi
				B接続(黒/青コード)	IG-0.5-Lo
アドレスV125 GK9	インジェクション	フルトランジスタ		B接続(青コード)	IG-0.5-Hi

⑤-6 温度センサー入力

温度センサー連結コード、温度センサーの接続

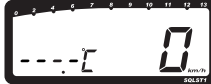
- ・温度計の測定範囲は0~120℃です。
- ・油温計測、水温計測を行うには、別途オプションパーツのアダプター類が必要です。車種によっては、温度センサー取り付け可能なエンジン部品も販売しています。当社カタログにてオプションパーツをご覧ください。
- ・温度センサーを適当な位置に固定し、外気温計としての使用も可能です。

メイン配線

[08]黄/白
[09]緑温度センサー連結コード900mm
(付属品)スティック温度センサー
(付属品)

ステアリング作動による干渉や走行振動による擦れ、エンジン高温部への接触などで損傷、断線しないように配線テープやタイラップを使いフレームや車体ハーネスに配線を固定して下さい。

センサー配線断線時



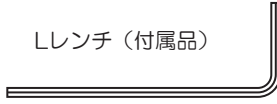
センサー配線短絡時



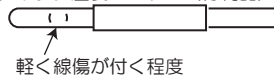
- 付属の止めネジは、当社製対応パーツにスティック温度センサーを取り付ける際に使用します。
 - 脱着防止の為に止めネジにネジロック剤を少量付け、センサーに軽く線傷が付く程度で締め込みを止めて下さい。
- ※止めネジの締めすぎでセンサー部が大きく変形すると、内部の電子部品が損傷してしまう可能性があります。

六角穴付き止めネジ
(付属品)LOCK
ネジロック剤

Lレンチ (付属品)



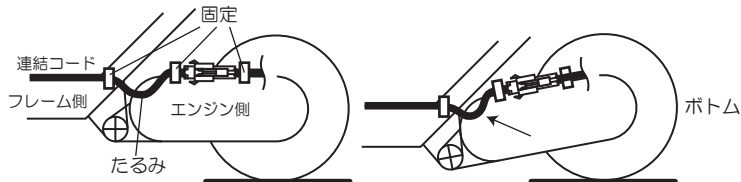
スティック温度センサー (付属品)



軽く線傷が付く程度

稼働部配線についてのアドバイス

スクーターのエンジンは走行中大きく上下に傾きます。上下の可動幅をよく確認し、十分な余裕(たるみ)を持たせて下さい。また、この動きによってコネクターの付け根やセンサー根元に負担が掛からないように配線間を固定して下さい。図の様に“たるみ”の両サイドをそれぞれ固定する事によりエンジンが動いた時、“たるみ”部分の配線が曲がるだけで、コネクター部にはあまり負担が掛かりません。



商品名	MEMO	商品番号
○スティック温度センサー (付属品)	武川オリジナルφ3スティック形状	07-04-0551
●PT1/8温度センサー (B1センサー)	PT1/8ボルト形状	07-04-055
M5温度センサー	M5ボルト形状	07-04-0552
ドレンボルトアダプターA1 : M12P1.5 モンキー、エイブ系エンジン専用	マグネット付き ○スティック温度センサー必要	07-04-054
ドレンボルトアダプターA2 : M36P1.5	○スティック温度センサー必要	07-04-0541
ドレンボルトアダプターA3 : M12P1.5	○スティック温度センサー必要	07-04-0542
ドレンボルトアダプターA4 : M14P1.5	○スティック温度センサー必要	07-04-0543
ドレンボルトアダプターA5 : M18P1.5	○スティック温度センサー必要	07-04-0544
M12シーリングワッシャー	A1、A3用	07-040-0001
M14シーリングワッシャー	A4用	07-040-0002
M18シーリングワッシャー	A5用	07-040-0004
内径φ8mmオイルクーラーホースアダプター	○スティック温度センサー必要	07-04-0521
水温計アダプター ユニオン径φ14	●PT1/8温度センサー必要	07-04-14
水温計アダプター ユニオン径φ16	●PT1/8温度センサー必要	07-04-16
水温計アダプター ユニオン径φ18	●PT1/8温度センサー必要	07-04-18
水温計アダプター ユニオン径φ22	●PT1/8温度センサー必要	07-04-22
水温計アダプター ユニオン径φ26	●PT1/8温度センサー必要	04-04-26
温度センサー連結コード900mm	コネクター間900mm延長	07-04-0522

速度センサーの接続

- ・付属のJISケーブル式速度センサーの上限回転数は4200rpm≒180km/h相当まで。
180km/h以上の速度表示の必要な場合は、オプションパーツの金属反応式速度センサーをご使用下さい。
メーターの最高表示は360km/hまで。
- ・ケーブルがメーターケーブル接続部の奥まで差し込めた事を確認してから、ケーブルロックナットを締めて下さい。
走行中にケーブルの接続が外れないようプライヤーなどを使いしっかりと取り付けて下さい。
取り付け後も緩みが無いか定期的に点検して下さい。

メイン配線

JISケーブル式速度センサー

関連ページ **④ メーター本体の取り付け**

関連ページ **⑥-2 操作方法**

●本製品はJIS規格に基いたケーブル差込部形状を採用しておりますが、輸入車及び一部国産車ではケーブル加工が必要な場合があります。

・ケーブルアウターからのケーブルの飛び出し量を測って下さい(図A)。
24mmを超える場合はその部分をカットして下さい。図Bのように底づきし、上に押し上げた状態で使用されますと回転部が激しく磨耗してしまい、正確な速度を認識出来なくなってしまいます。

24mm以下

図A

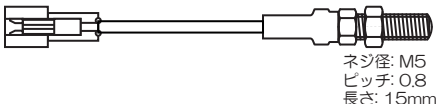
センサー

隙間

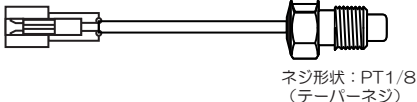
図B

前ページ記載の温度計用オプションパーツ説明図(一部)

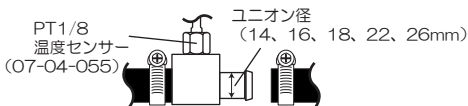
M5温度センサー
07-04-0552



PT1/8温度センサー (B1センサー)
07-04-055

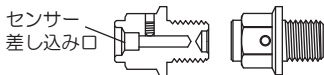


水温計アダプター
07-04-14 /16 /18 /22 /26



PT1/8温度センサー差込口のあるラジエーターホースアタッチメントです。ホースバンド2個付属

ドレンボルトアダプター
07-04-0541 /0542 /0543 /0544



スティックセンサー差込口のあるドレンボルトアダプターです。

速度信号長さ設定と速度信号回数設定について（メーター側設定）

- 車種に関わらず、ノーマルタイヤ、ノーマルメーターギアを使用している場合、メーター側の設定は714mm、6信号です。
- 国内車輛はJIS規格によりメーターケーブル回転数が1400rpm時60km/hと定められおり、これを換算した値が714mm、6信号である為です。
- 他車種のホイール流用などの場合でも、そのホイール用のメーターギアをセットで使用すれば、同様に標準補正值は714mm、6信号です。
- メーターギアはノーマルを使用しながら、タイヤ周長がノーマルから変化した場合は速度補正の必要があります。
- 外品のインチアップホイールに交換した場合。
- タイヤサイズを変更した場合。

関連ページ ⑥-2 操作方法

速度補正值調べ方1

- メーターギアと現在装着している改造後タイヤ周長から割り出す方法です。（メーターギアBOX内部）
- ※分解時に破損の恐れがあります。十分に気を付けて作業を行って下さい。

1.メーターギアを分解してギア山数を数えます。

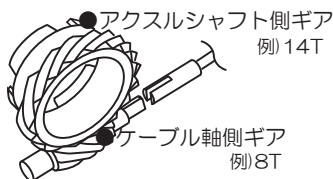
数値A

ケーブル軸側

数値B

アクスルシャフト側

ギアボックス種類	モンキーノーマル	武川10インチ用
ケーブル軸側	8T	9T
アクスルシャフト側	13T	17T

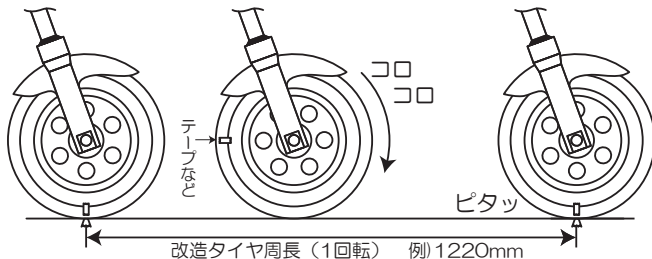


2.テープなどでタイヤと地面に印を付け、改造タイヤを1回転させてその距離を測ります。

数値C

タイヤ周長(mm)

例) 1220mm



3.下記計算式から値を割り出す事が出来ます。太枠内の数値が“速度信号長さ設定”の値となります。
 “速度信号回数設定”は“6”を入力して下さい

関連ページ ⑥-2 操作方法

数値A

例) 8T

数値B

例) 14T

数値C

例) 1220mm

補正值

例) ≒697mm

$$\div \times =$$

速度補正值調べ方2

- ノーマルタイヤと変更後のタイヤを比較する方法です。 関連ページ ⑥-2 操作方法
- それぞれのタイヤ周長を測って下さい。
- 下記計算式から値を割り出す事が出来ます。太枠内の数値が“速度信号長さ設定”の値となります。
- 速度信号回数設定“は”6”を入力して下さい

数値A

変更後のタイヤ周長

例) 1220mm

数値B

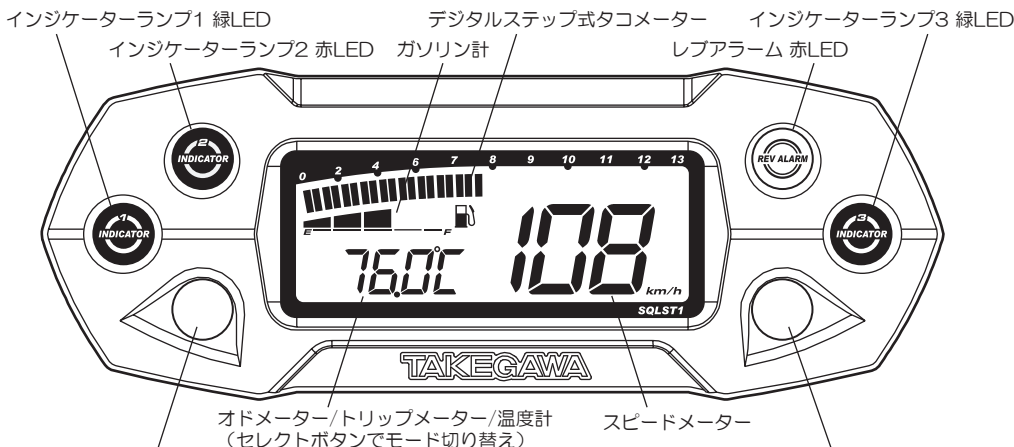
ノーマルタイヤ周長

例) 1250mm

$$\div \times 714 =$$

補正值

例) ≒697mm



- セレクトボタン (Sボタン)
 - ・オドメーター/トリップメーター/温度計のモード切り替え
 - ・SボタンとAボタンを3秒長押ししてADJモードに入ります。ADJモード=各種設定値の変更、調整を行うモード
 - ・ADJモード時: 次項目へ進む

- アジャストボタン (Aボタン)
 - ・トリップメーター時: 3秒長押しして走行距離リセット
 - ・ADJモード時: 設定値の変更

関連ページ

スピードメーター	最高表示360km/h※ ※オプションの金属反応式速度センサー使用時。 付属のJISケープル式速度センサーの上限回転数は4200rpm≒180km/hまで。	④ ⑤-7
オドメーター	～99999km (1km単位)	
トリップメーター	～999.9km (100m単位) Aボタン長押しで消去	
速度誤差補正	速度表示の[ズレ]を補正可能。設定範囲: 300～2500mm、1～60パルス 付属速度センサー標準値: 714mm-6信号、換算補正範囲: 約42%～350%	⑤-7 ⑥-2

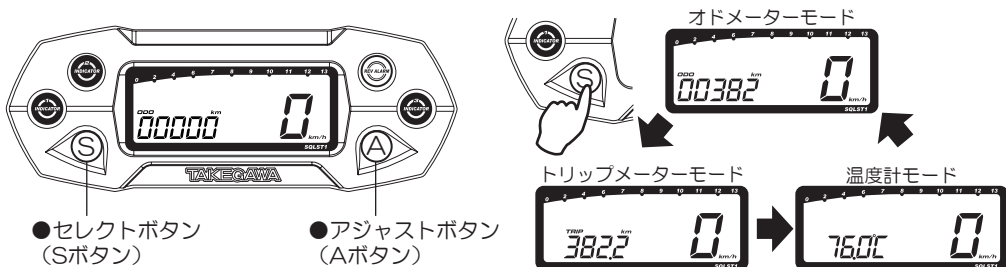
デジタルステップ式タコメーター	電気式、最高13000rpm、40ステップ 0～6000rpmは500rpm/1ステップ、6000～13000rpmは250rpm/1ステップ	
レブアラーム	指定回転数に達すると赤色LEDインジケータが点灯。 設定範囲: 4000～19900rpm	⑥-2
RPM信号接続設定	RPMコード接続先の種類。IGモード: 【A接続】 【B接続】、PCモード: 【C接続】	⑥-2
RPM信号回数設定	クランクシャフト1回転あたりの信号回数設定。IGモード: 0.5回、1～6回、PCモード: 1～24回	⑥-2
RPM信号種類設定	読み込みプログラムの種類を選択。Hiモード、Loモード	⑥-2
3WAY RPM信号入力	3種類の異なるRPM信号の読み取り接続可能。【A接続】 【B接続】 【C接続】	⑤-5

温度計	測定範囲0～120℃ ※ご使用には別売のアダプター類が必要です。	⑤-6
-----	----------------------------------	-----

ガソリン計	5ステップ、100/510Ω切り替え可能。配線未接続時は非表示。 ※スクーターなどガソリンセンサーのあるバイクのみ対応	⑤-4 ⑥-2
3インジケータ	ニュートラルランプ、警告灯などに利用可能な3つのインジケータランプを装備。 1: 緑LED、マイナス点灯 2: 赤LED、プラス/マイナス点灯。 3: 緑LED、プラス点灯	⑤-3
バックライト	オレンジLED、5段階の明るさ調整付き。発光ムラが少なく、視認性に優れています。	⑥-2
汎用ステー	汎用性の高い組み立て式ステーを付属。ボルト固定箇所や速度センサーを様々な位置に移動出来ます。ステンレス製	④

メーター起動

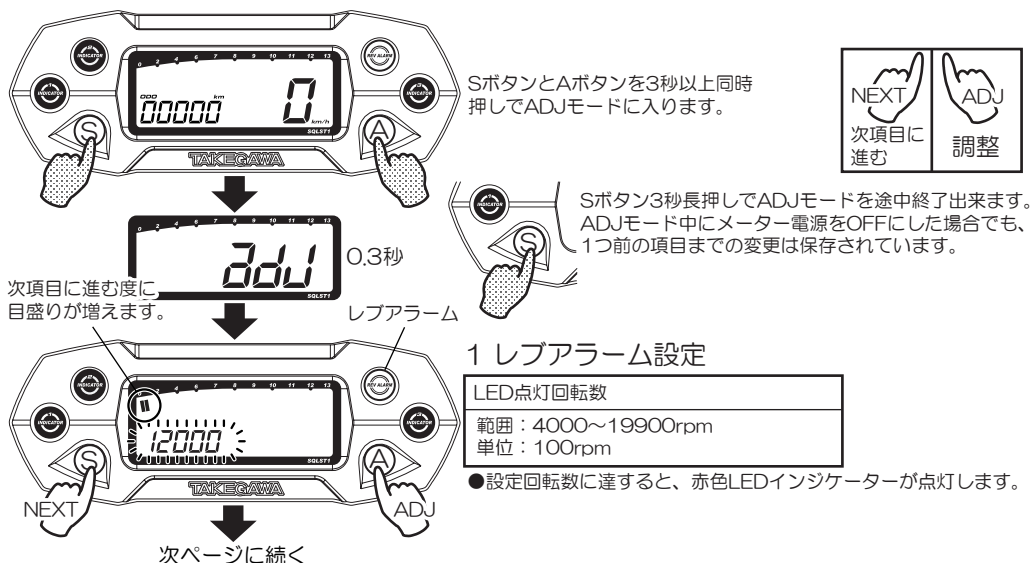
- DC電源接続車はキーONでメーターが起動します。●AC電源接続車は、エンジン始動に伴い電源が入ります。
- ※メーター起動時に0.3秒間、「r-*」表示が出ます（※は数字）。設定データの読み出し中であり、異常を意味するものではありません。
- 前回OFFにした時のモードで起動します。
- セレクトボタン（Sボタン）で左下がオドメーター→トリップメーター→温度計→オドメーター・・・に切り替わります。



ADJモード

各種設定値の変更、調整を行うモードです。SボタンとAボタンを3秒以上同時押しでADJモードに入ります。

1	レブアラーム	LED点灯回転数	4000~19900rpm 単位：100rpm
2	RPM信号接続	RPMコード接続先の種類	IGモード、PCモード
2.5	RPM信号回数	クランクシャフト1回転あたりの信号回数	IGモード：0.5、1~6回、PCモード：1~24回
3	RPM信号種類	読み込みプログラムの種類	Hiモード、Loモード
4~7	速度信号長さ	速度センサー1回転あたりの走行距離	300~2500mm 標準値：714mm
8&9	速度信号回数	速度センサー1回転あたりの信号回数	1~60信号 標準値：6信号
10	ガソリン計	ガソリンセンサーの抵抗値	510Ω、100Ω
11	バックライト	バックライトの輝度	1~5
12	距離単位	メートルかマイルの単位設定	メートル、マイル 標準値：メートル
13	温度単位	摂氏か華氏の単位設定	C、F 標準値：C



次ページに続く

⚠ 注意

2～3のRPM信号設定は、RPMコードの接続方法により適合する設定値が異なります。

作動確認前に本体のRPM信号設定の切り替え操作を行って下さい。

RPMコードの接続方法は

⑤-5 RPM信号入力

2 RPM信号接続設定

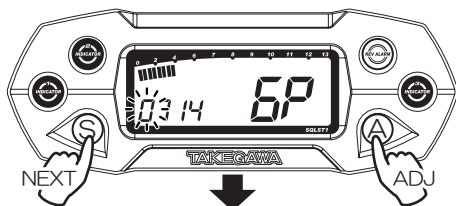
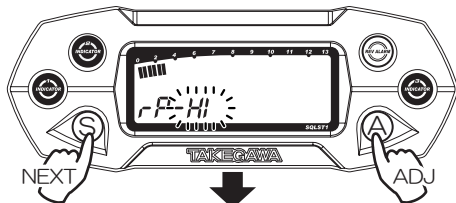
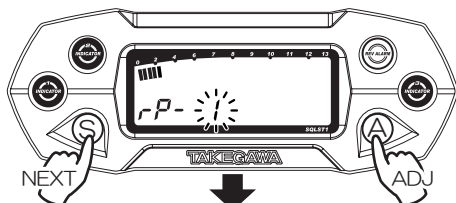
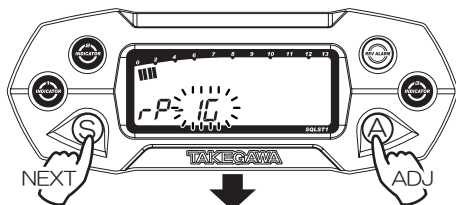
RPMコード接続先の種類
IGモード【A接続】【B接続】イグニッションコイル接続 PCモード【C接続】パルスジェネレーター接続

2.5 RPM信号回数設定

クランクシャフト1回転あたりの信号回数
IGモード時の範囲：0.5、1～6回 PCモード時の範囲：1～24回

3 RPM信号種類設定

読み込みプログラムの種類
範囲：Hiモード、Loモード



次ページに続く

4～7 速度信号長さ設定

速度センサー1回転あたりの進行距離
範囲：300～2500mm 単位：1mm 標準値：714mm (0714)

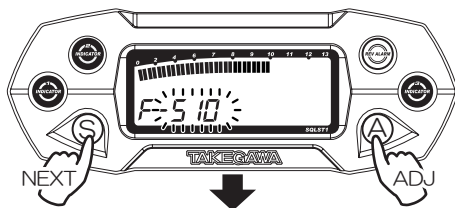
- 速度センサー1回転あたりの進行距離について
- ・スピードメーターケーブル1回転あたりにバイクの進む距離を入力します。
- ・ノーマルタイヤ、ノーマルメーターギアであれば、JIS規格により714mmが標準値となります。

関連ページ **⑥-7 速度センサー入力**

8&9 速度信号回数設定

速度センサー1回転あたりの信号回数
範囲：1～60信号 単位：1信号 標準値：6信号 (06P)

- 速度センサー1回転あたりの信号回数について
- ・付属のJISケーブル式速度センサーは6信号です。
- ・オプションパーツの速度センサー使用時に設定を変更します。



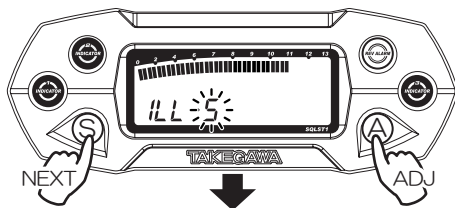
10 ガソリン計設定

ガソリンセンサーの抵抗値

範囲：510Ω、100Ω

- ガソリンセンサーの抵抗値について
 - ・HONDA車の多くが510Ω、
 - ・YAMAHA/SUZUKI車の多くが100Ωです。
- 配線を接続していない場合は、表示無しになります。

関連ページ **⑥-4 ガソリン計入力**

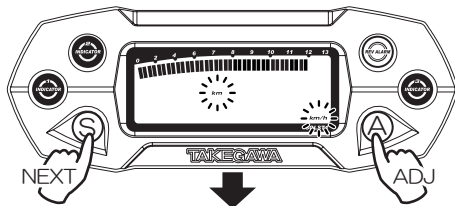


11 バックライト設定

バックライトの輝度

範囲：1～5（最高輝度5）

- バックライトの輝度について
 - ・1が一番暗く、5が一番明るい設定となります。
 - ・1段階につき消費電力約0.13W（13V10mA）ずつ増えます。

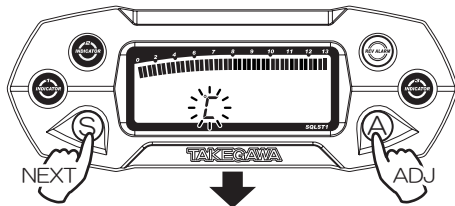


12 距離単位設定

メートルかマイルの単位設定

範囲：メートル、マイル

- メートルかマイルの単位設定について
 - ・日本はメートル法ですので、設定（km/h）を選択して下さい。
- ※設定（MPH）を選択すると、数値が大きく異なります。
- マイルは外国で使われている距離単位です。



13 温度単位設定

摂氏か華氏の単位設定

範囲：C、F

- 摂氏か華氏の単位設定について
 - ・日本は摂氏ですので、設定（C）を選択して下さい。
- ※設定（F）を選択すると、数値が大きく異なります。
- 華氏は外国で使われている温度単位です。

ADJモードを終了します。

